

平成29年度特別展

む

し



虫

明

あ

げ

虫明焼 福寿字文引舟水指 江戸時代 19世紀 個人蔵

岡山に花開いた京の焼物

Mushiage Ware: Kyoto-born Ceramics which Blossomed in Okayama

2018.1.19(金)～3.11(日) 9:30～17:00 (開会初日のみ、10:00開館)

会期中、一部展示替えを行います。

休館日=月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料=大人450円 65歳以上220円 高校生以下無料

【主催】岡山県教育委員会 岡山県立博物館 茶道資料館
【共催】山陽新聞社 山陽放送
【後援】OHK岡山放送 TSCテレビせとうち RNC西日本放送
KSB瀬戸内海放送 oniビジョン (公財)岡山県郷土文化財団
【特別協力】(一社)茶道裏千家淡交会東中国地区

《京都展》茶道資料館 平成30年春季特別展
会期=平成30年3月23日(金)～5月27日(日)
休館日=月曜日(ただし4月30日は開館)、5月1日(火)

岡山県立博物館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

春は

平成29年度特別展

むしあげ

虫 明

岡山に花開いた京の焼物

*Mushiage Ware: Kyoto-born Ceramics
which Blossomed in Okayama*

「日本一清楚」とも評される虫明焼。

京焼の流れを汲む焼物と言われ、備前焼とともに、岡山県を代表する焼物として知られてきました。虫明焼の優れた茶道具が生み出された背景には、岡山藩の筆頭家老、伊木家十四代目の当主である三猿齋(忠澄)と裏千家十一代家元、玄々齋の交流がありました。三猿齋は虫明の地で茶道具を制作するため、京焼の陶工、清風与平と真葛香山を呼び寄せています。

岡山で花開いた京都の文化がどのように受け継がれてきたかを、その精華である虫明焼、そしてモデルとなった京焼などの紹介を通じてご覧いただけます。

① 記念講演

「虫明焼が伝える京の伝統文化—京焼の技と意匠、茶陶の美意識—」

日時:1月20日(土) 午後1時30分~午後3時

講師:橘倫子氏(茶道資料館)

※140名(先着順) 事前申込不要、聴講無料(別途入館料が必要)

② バレンタイン茶会

日時:2月11日(日) 午前10時~午後4時

企画:茶道裏千家淡交会青年部東中国ブロック

※先着順、用意が無くなり次第終了 事前申込不要、参加費500円

③ 茶席

日時:2月25日(日) 午前10時~午後3時

企画:(一社)茶道裏千家淡交会倉敷支部

※先着順、用意が無くなり次第終了 事前申込不要、参加費500円

④ 学芸員による展示解説

日時:毎週土曜日(1月20日を除く) 午後2時~午後3時

※事前申込不要、見学無料(入館料は必要)



虫明焼 色絵菊文鉢 初代清風与平作
江戸時代 19世紀
瀬戸内市教育委員会蔵



虫明焼 落雁水指 真葛香山作
明治時代 19世紀 個人蔵



虫明焼 金襴手鳳凰文盃・台 初代清風与平作
江戸時代 19世紀 個人蔵

虫明焼 染付花唐草文仏手柑組合子
初代清風与平作
江戸時代 19世紀 個人蔵



虫明焼 三島写角水指 塗蓋 8代中村宗哲作
文久2-3(1862-1863)年 個人蔵



虫明焼 十二月茶碗のうち三月
江戸時代 19世紀 個人蔵



JR岡山駅後楽園口(東口)から
・徒歩(約25分)
・路面電車(約5分)
【東山行】【城下】下車 徒歩(約10分)
・バス(岡山駅バスターミナル1番のりば)
岡電バス【藤原団地行】(約20分)
【後楽園ノストップバス】(約10分~15分)
宇野バス【岡山後楽園バス】(約10分~15分)
いずれも「後楽園前」下車すぐ

〒703-8257 岡山市北区後楽園1番5号
TEL:086-272-1149(代表)
FAX:086-272-1150

岡山県立博物館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM